

10 日本の商業・サービス業

○産業の中心を担う第3次産業

産業の分類

- (*) : 農業や牧畜業、林業、水産業など
- (*) : 鉱工業や建設業など
- (*) : () や () など

※() には小売業や卸売業など、() には宿泊・飲食業や金融・保険業、教育などがある

日本の産業：第二次世界大戦後、第3次産業の割合が増加

→人口が多く経済活動が盛んな三大都市圏や、観光客の多い北海道・沖縄などで割合が高い

○生活の変化と商業

商業の中心：かつては駅前や商店街、デパートなど

→自動車の普及により、郊外の幹線道路沿いの大型ショッピングセンターや専門店などが進出

→駅前などの商店街や小規模のスーパーマーケットが閉店へ

(*) の発達や買い物手段の多様化

- コンビニエンスストアでの商品の販売、配送のデータ管理
- インターネットを利用した電子商取引の普及

→自動車の運転ができない人や、高齢者や離島・農山村に住む人も買い物ができる

○成長するサービス業

情報通信技術の発展

→ソフトウェアの開発や映像の制作など、情報や通信に関わる業種の成長

→情報を扱うテレビ局や新聞社の多い大都市に集中する傾向

急速な少子高齢化

→医療や福祉サービスを提供する業種の増加

→暮らしに直接かかわることから、全国に均等に分布

観光に関する産業の成長